

ＪＡバンク三重における地域密着型金融の取組状況（平成 26 年度）

ＪＡバンク三重（三重県下ＪＡと三重県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 26 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

（ＪＡバンク三重の農業メインバンク機能強化への取組み）

ＪＡバンク三重では、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（１）農業融資商品の適切な提供・開発

ＪＡバンク三重では、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、組合員の皆様の農業経営をサポートしています。

平成 27 年 3 月末時点におけるＪＡバンク三重の農業関係資金残高^{（注 1）}は 21,053 百万円（うち農業経営向け貸付金 15,793 百万円）日本政策金融公庫の受託貸付金^{（注 2）}残高は 3,933 百万円となっています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）ＪＡバンク三重が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。なお、受託貸付金残高にはＪＡ転貸分を含みます。

【資金種別別農業資金残高】

（単位：百万円）

種 類	27年3月末現在
プロパー資金	11,504
農業制度資金	9,548
農業近代化資金	4,878
その他制度資金	4,670
合 計	21,053

（注）

- 1 プロパー資金とは、ＪＡバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体等が利子補給等を行うことでＪＡバンク三重が低利で融資するもの、日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは の転貸資金と を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパー S 資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円)

	27年3月末現在
農業	
穀作	2,816
野菜・園芸	2,239
果樹・樹園農業	853
工芸作物	1,201
養豚・肉牛・酪農	3,456
養鶏・鶏卵	572
養蚕	0
その他農業	4,653
農業関連団体等	5,259
合計	21,053

(注)

- 1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- 2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
- 3 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	27年3月末現在
日本政策金融公庫資金	3,933
そ の 他	0
合 計	3,933

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク三重では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAの農業融資担当者は、営農経済担当者がお聞きした情報も含めてニーズ把握に努めており、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。

また、県内JAの本店には18名の「担い手金融リーダー」を配置し、支店の活動をサポートしています。

JA三重信連では、農業金融の専門部署を設置し、JAの農業融資に関する指導・支援および農業法人向けの融資を行っています。

(3) 販路拡大の支援

J A 三重信連では、マッチングイベント・商談会を開催し、農業者の加工・販売への取組みや販路拡大をサポートしています。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
みえのこだわり マッチング交流会	平成 26 年 11 月 21 日	三重県 百五銀行グループ	80 社	207 名	ブース出展によるフリー商談と事前予約による個別商談会
東海四県 JA グループ 食の大商談会 2015	平成 27 年 2 月 4 日	愛知県信連 岐阜県信連 静岡県信連 三重県信連	91 団体	1,432 名	ブース出展によるフリー商談と事前予約による個別商談会

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J A バンク三重では、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J A バンク三重では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

	平成 26 年度 実行件数	平成 26 年度 実行金額	平成 27 年 3 月末 残高
青年等就農資金	3	7,110	7,110
合計	3	7,110	7,110

(2) 新規就農者研修受入先の支援

J A バンク三重では、新規就農者の研修受入先となる農業法人等をサポートするため、J A バンクアグリ・エコサポート基金が実施する J A バンク新規就農応援事業により研修費用の一部を助成しています。

【平成 26 年度の助成実績】 (単位：件、千円)

新規就農者 研修受入先	助成金額
1	360

(3) 講演会・セミナー等の開催

J Aバンク三重では、農業の担い手等の経営を支援するため、県下J Aと共催した農業者向けセミナーを開催しています。

【平成 26 年度 講演会・セミナー開催実績】

講演会名	参加対象者	主催者	参加者数	内容
農業者向けセミナー (平成 26 年 11 月 5、6 日)	農業者	J A みえきた 三重県信連	97 名	野菜のパワーを引き出す コツ
農業者向けセミナー (平成 27 年 1 月 20 日)	農業者	J A いがほくぶ 三重県信連	118 名	地域食と農ビジネスの 勘所
農業者向けセミナー (平成 27 年 2 月 6 日)	農業者	J A 鈴鹿 三重県信連	53 名	賢く！手堅く！儲けて！ 残す！ 孫まで続ける農業法人経営 秘訣とは

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク三重では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 動産担保融資の活用

J Aバンク三重では、農畜産物や事業用機械などの動産を担保とした融資を行い、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っています。

【平成 26 年度の活用実績】

(単位：件、百万円)

	平成 26 年度	
	件数	残高
農産物	0	0
畜産物	2	114
機械設備	2	1,276
その他	0	0
合計	4	1,390

(2) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク三重では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 26 年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 27 年 3 月末残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	124
畜産特別資金	0	0	504
合計	0	0	629

- ・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク三重では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

J Aバンク三重では、台風など自然災害の被災農業者への円滑な資金の融通、既往貸付金の償還猶予等について個別融資先の経営状況に応じて対応しています。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A 名	内容	件数	貸付実行金額
平成26年2月14～15日の大雪に伴うパイプハウス被害の復旧に要する資金	J A 多気郡	大雪に伴うパイプハウスの倒壊等、被害を受けた組合員に対し、J Aにて資材購入される方：0.0%、他店で資材購入される方：0.5%と、低利の資金対応をしました。	2	2.4
平成 26 年産の米価変動の影響	J A いがほくぶ	米価下落による収支悪化を受けた組合員に対し、プロパー資金にて対応しました。	1	3.5
平成 26 年産の米価変動の影響	J A いがほくぶ	米価下落による収支悪化を受けた組合員に対し、農業経営資金にて対応しました。	3	6
台風 18・19 号被害 農家経営資金の対応	J A 三重南紀	台風で農産物被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	21	24

(2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク三重は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクから県内の小学校141校へ、7,150セットを配布し、学校の授業等において活用されています。

また、県下J Aでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
J Aみえきた	地元農産物で食育	地元産大豆を使った小学生を対象とした豆腐作りの体験授業
	稲作体験学習(田んぼの学校)	小学生を対象とした田植え、稲刈り等体験
	野菜作り体験教室	保育園でのさつまいも作り
	夏休み親子教室	管内小学生と保護者による工作・昼食作り
	手作りウインナー教室	親子による地元産豚肉を使用したウインナー作り教室
	野菜作り体験教室	小学生による野菜づくり教室
	小学生料理コンテスト	小学生による地元産農作物を使った創作料理のコンテスト
	子どもクッキング	小学生による地元農産物を使った料理教室、食・農業に関する学習会
	出前授業みそ造り	小学生によるみそ造り体験授業
	赤とんぼふるさと探し	小学生および保護者による田んぼの生き物調査と食農教育イベント
	親子ふれあい農業体験	農産物の収穫体験を通じて、農業に対する親近感を育む食農教育イベント
	社会科見学	管内小学生の社会科見学
J A鈴鹿	地元食材を生かした食育活動	J A職員と生産者が市内の小学校にて地元生産の米で作った給食を食し、交流を図る
	野菜栽培体験スクール	管内の小学生等と行う野菜栽培体験
J A津安芸	カントリーエレベーター見学会	地元小学生を対象にカントリーエレベーター等の見学を行い、稲から白米になるまでの作業や、米に関する食農教育
	J A津安芸親子ふれあい教室	クッキング体験や、野菜クイズ等を行い、食と農の大切さを学ぶ食農教育
	小学校稲作体験学習	地元園児・小学生を対象に稲作体験を通じて米への理解と農業の良さを感じてもらう食農教育
	お米づくり教室	生産者と消費者との交流会を兼ねて、農業体験、ゲームやクイズ等を用いた食農教育
	おやさい作り出前講座	管内幼稚園児を対象とした食農教育

JA名	活動名	活動内容
JA三重中央	つちっこクラブ	親子で参加する農業体験を通じて食や農への関心を深め、環境問題を考える等の総合的な食農教育
	農業体験学習	小学生を対象に農業体験を通じて食の大切さや体験学習を行う
	食農教育・環境コーナー	JAまつりにおいて、小学生以下を対象に「食育」をテーマとした参加型ブースを設置
JA一志東部	小学校梨体験学習	部会員の圃場にて、地元特産品である梨が収穫されるまでの作業を小学生が体験学習する食農・食育教育
JA松阪	JA松阪あぐりスクール	小学生と保護者を対象とした農産物の栽培・収穫・調理実習等の食農体験
	出前授業	「ちゃぐりん」を教材とした食農教育活動
	食農支援	小学生を対象とした農作物の栽培・収穫体験
JA伊勢	親子よくばり体験教室	管内親子による農作物の植付・収穫体験等を通じた食育体験教室
	水稲田植え稲刈り体験	小学生を対象とした田植え・稲刈りの体験教室
JA鳥羽志摩	あぐりスクール	地元小学生と保護者を対象とした農業体験スクール
JAいがほくぶ	お米作り教室	親子で稲作体験、収穫したお米を使用した試食やJA指導による学習教室を通じて、稲作や米等の理解を深める
	子ども食農教育教室	農作業や農作物の加工を通じて農業への理解と親しみを深める
	親子アグリ教室	地元食材を使った料理教室を開催し、地元特産物や旬の野菜に対する理解を深める
	バケツ稲作教室	バケツ稲作体験を通じて、稲作やお米等への理解を深める
JA伊賀南部	稲作体験教室	小学生を対象に、田植え・稲刈り作業の体験学習、おにぎり作りを開催
JA三重南紀	ふれあい農業スクール	小学生による食・農業スクール体験（バケツ稲作りや餅つき大会の実施）
	食育コーナー	食の安全・安心とJAへの関心を深めるための絵日記を展示
	食育支援	小学校でのさつまいもの栽培・収穫体験を通じ、農業に対する理解振興を行う
	食農教育	JAまつりのイベントとしてクイズを通じて食育等への理解を深める
JA三重中央会	親子体感食育フェスティバル	農畜産物の学習から収穫、調理までの一連の流れを通じた食農教育活動

以上